

11月 幼児部だより

令和2年11月25日発行 洗足池保育園

どんぐりやまつぼっくり、落ち葉集めに夢中な子ども達。すっかりと秋も深まり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。感染症に気をつけながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思ひます。



今月の一コマ

いちょうの葉っぱが黄色くなったよ！



粘土で自分の顔を作ったよ！
似てるでしょ？



わかば組

恐竜ごっこに夢中の子ども達。自分達で作ったティラノサウルスやトリケラトプスのお面を気に入り、喜んで被って遊んでいます。特に園庭で恐竜ごっこをするのが好きなようで、「恐竜のお面、持っていきたい！」と保育者に伝え、靴を履き終わるとお面を被り、「ガオー！」や「狩りを始めるぞ！」とごっこ遊びを始めています。トリケラトプスになりきっている子は、ティラノサウルスになりきっている友達や保育者に「トリケラトプスの事、食べてね」と伝え、食べられないように急いで逃げています。また、捕まってしまうと、ゆっくりと倒れていき食べられている様子を再現していますよ。ティラノサウルスになりきっている子は、指をチョキの形にし、ゆっくりと歩きながら友達と狩りに出掛けています。獲物を見つげると、「あそこにいたぞ！」と皆に知らせ、急いで追いかけています。また、狩りだけでなく最近はお卵を産み、赤ちゃんを敵から守る真似もしていましたよ。

このように好きな物を通して、友達とごっこ遊びを楽しむ姿を見て微笑ましく思ひます。これからも、様々なごっこ遊びを楽しめるよう、子ども達と小道具を一緒に作っていきたく思ひます。



あおば組

秋になり、散歩へ行くとどんぐりや落ち葉を拾い集める子ども達。拾い集めた自然物を使って、友達と一緒にどんぐり屋さんごっこや葉っぱ屋さんごっこを楽しんでいます。また、拾い集めた自然物を「持って帰りたい！」と言ひ、自分の袋いっぱいどんぐりや葉っぱを集める姿も見られます。

自然物にとっても興味を持っているので、先日散歩先で拾い集めた枝や木の実等を使い、「木」の製作をしました。「木って大きいよね！」「どうやって木にしようかな～」と考えながら作る子ども達。何本かの枝を組み合わせ、自分なりに貼っていきました。高く細長い木や、沢山枝分かれしている木等、様々でしたよ！また、枝を貼り合わせた後は、どんぐりや、画用紙や布で作った葉っぱ、粘土やポンポン等の様々な素材を使い、木に飾り付けをしました。「この葉っぱかわいいかな？」「粘土で木の実を作る！」等と言ひ、自分なりに考えながら、自由に「木」に飾り付けをしていました。完成すると、「見て～！大きな木の出来上がり！」「これはどんぐりの木だよ！」とそれぞれ違った「木」を見せてくれました。

今後も自然物を使った遊びや製作等を、活動に取り入れていきたく思ひます。



11月生まれのおともだち

C・K ちゃん(4歳)
W・Mくん(4歳)
H・Kくん(6歳)
おめでとう！

♪12月の歌♪

- ・ジングルベル
- ・赤鼻のトナカイ
- ・こぎつね
- ・ドロップスのうた

